



竹内 滋泰  
市政クラブ

### モーターボート競走 事業の使命と財政運営

**問** 持続可能な財政運営を目指して、ボート競走事業の収益の予期せぬ変動に柔軟に対応できる仕組みを導入する必要がある。繰出金を利益状況に応じて、適切に処分できるように新たに「蒲郡市モーターボート競走事業費・ひと・いえ・まちづくり基金」（仮称）を創設すべきだと提案するが、市の考えを伺う。

**答** 市民を支えるための経常的な財源は、市税収入を根幹とする各年度の歳入で賄い、市全体の事業バランスや優先順位等を考慮して歳出予算に計上したい。また、新基金の創設は現時点で考えているものではないが、関係部署とともに研究していきたい。

### 住民税減税の可能性と その実現に向けた取組

**問** 物価高の状況において市民の生活を守るには市の責務である。住民の経済的負担の軽減、生活の質の向上、地域経済の活性化促進等のために、独自に市民税の一律10%減税を実施することについて市の考えを伺う。

**答** 令和7年度予算は市の貯金である財政調整基金を26億円取り崩し、加えて財源不足を補うためモーターボート競走事業収入10億円を諸収入として見込んでいる。さらに市税減少分を賄うことは難しく実施は考えていない。



ボートレース蒲郡

## 国民健康保険税条例の一部改正などを議決

6月市議会定例会は、6月11日から23日までの13日間の会期で開き、議案14件、意見書案7件を審議しました。

国民健康保険税条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

### 6月定例会 議案

#### 条例の改正

#### ●市税条例の一部改正 (第42号議案)

地方税法の改正に伴い、個人市民税は、所得割の納税義務者と生計を一にする19歳以上23歳未満の者のうち、控除対象扶養親族の対象とならない前年の合計所得金額が58万円を超え、123万円以下のものを有する所得割の納税義務者について、前年の総所得金額等から、最高45万円を控除する「特定親族特別控除」が創設されます。

公益信託に関する法律の

施行に伴い、寄附金税額控除に係る規定の整理を行います。

市たばこ税は、加熱式たばこが、紙巻たばこよりも税負担水準が低く課税の適正化の観点から税負担差を解消するため、当分の間、加熱式たばこの重量に応じ換算した紙巻たばこの本数とする課税方式に見直されます。時期については、激変緩和等の観点から、令和8年4月1日から段階的に行います。

#### ●総務委員会での主な質疑

**問** 個人市民税の特定親族特別控除について、市内の対象者の数と、税収への影

#### ■ 6月定例会の日程

- 11日 本会議  
〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 12日 本会議〔一般質問〕
- 13日 本会議〔一般質問〕  
議会運営委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 経済委員会
- 18日 文教委員会
- 23日 本会議  
〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕